

特集



大雨に 備える



これは平成30年7月の市内二日市中央の様子です。大雨の影響によって川はあふれかえり、水位は通行人の膝丈近くまで迫り、自動車は水をかき分けるように走行しています。この大雨の影響によって、市内の多くの場所で、河川の氾濫や道路の陥没、土砂災害が発生しました。

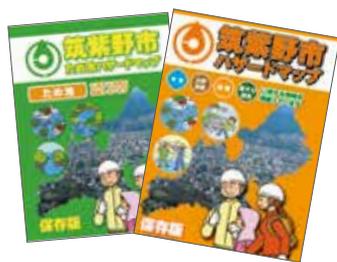
大雨のシーズンを迎えるにあたり、いつまたこのような大雨による災害が発生するかわかりません。今回の特集は、大雨などの災害に対する事前の備えをテーマにお知らせします。

ハザードマップを活用しよう

市では、洪水、土砂災害、地震などの災害危険箇所や防災についての基本的な情報を記載した「洪水・内水・土砂災害ハザードマップ」と、ため池が決壊し水が流出した場合の浸水区域を記載した「ため池ハザードマップ」を作成しています。市ホームページでも見ることができます。

ID 1666 (洪水・内水・土砂災害ハザードマップ)

13669 (ため池ハザードマップ)



また、地図をデジタル化し、災害危険箇所などの情報を確認することができます。「ちくしのデジタルマップ」版ハザードマップを公開しています。住所などを入力することで簡単に災害危険箇所や避難所などの確認ができるので、自

宅の周囲の状況を確認し、災害への備えに活用ください。

ID 26625

家族で防災会議

いざというときにあわてず行動できるように、ハザードマップなどを確認しながら家族で防災について話し合ってみましょう。

乳幼児、高齢者、病人、妊婦、ペットの避難方法も話し合いましょう。

●話し合いたい項目

- ▽自宅付近の浸水状況や土砂災害のおそれのある箇所の確認
- ▽災害が起こったときの身の守り方
- ▽災害時の連絡手段、最終的に出会う場所はどこにするか
- ▽災害別の避難行動
- ▽指定避難所までの避難経路
- ▽家族一人ひとりの役割分担
- ▽家族の安否確認、非常持出品・備蓄品の準備、隣近所への連絡など



災害に備える3ポイント



ポイント1

非常持ち出し品・備蓄品を準備！

非常持ち出し品

避難時にまず持ち出すべきもの。非常用持ち出し袋に入れ、玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

●貴重品類

- 現金 預金通帳 印鑑 保険証
- 免許証

●救急用具

- 救急箱 処方箋の控え 常備薬

●非常食品

- 乾パン 缶詰 栄養補助食品 飲料水

●衣料品

- 下着・靴下 長袖・長ズボン
- 防寒用ジャケット・雨具

●生活用品

- 懐中電灯 携帯ラジオ 予備の乾電池
- ヘルメット タオル 歯ブラシ
- ティッシュペーパー 毛布
- ライター・マッチ 携帯用トイレ
- 携帯カイロ マスク 消毒液 体温計
- モバイルバッテリー

備蓄品

災害復旧までの数日間を自足できるように準備するもの。倉庫や車のトランクなどに分けて備蓄しておくとう便利です。

●食料品

- レトルト食品、アルファ化米
- インスタント食品
- 飲料水

※1人1日3リットルが目安。3日分は備える。

●生活用品

- 給水用ポリタンク カセットコンロ
- ラップフィルム
- ティッシュペーパー、ウェットティッシュ
- 紙皿、紙コップ、割り箸 簡易トイレ
- 水のいらぬシャンプー ビニール袋
- ロープ ランタン 長靴

リストにないものでも、各家庭で必要な物を考えておきましょう。

非常食は定期的に消費し、消費した分だけ補充するようにしましょう。

ポイント2

災害時の情報収集の準備！

市や県は、さまざまなツールで防災に関する情報を発信しています。令和3年12月から、県の防災アプリ「防災ナビまもるくん」が開始されました。現在地の防災情報をプッシュ通知でお知らせする機能や、とるべき行動をイラストで配信する機能、最寄りの避難所情報を地図で表示する機能などが備わっています。

自分に合った防災情報の取得手段を確保しましょう。

<p>筑紫野市ホームページ http://www.city.chikushino.fukuoka.jp/ 災害や避難に関する情報を掲載。</p>	<p>筑紫野市SNS 3259 LINE(ライン)、フェイスブック、ツイッターを利用してお知らせ。</p>
<p>防災メールまもるくん https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/mamorukun/ 県から防災情報や地域の安全情報などをメールでお知らせ。登録が必要です。</p>	<p>防災ナビまもるくん https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bousai-navi-mamorukun.html 県から防災情報や地域の安全情報などをスマートフォンアプリの通知機能でお知らせ。登録が必要です。</p>
<p>テレフォンサービス 携帯電話を持っていない人に緊急情報や特別警報、避難情報などを固定電話やFAXにお知らせ。登録が必要です。危機管理課にご相談ください。</p>	<p>エリアメール・緊急速報メール 気象庁が配信する緊急地震速報や、国、県、市が配信する災害・避難情報を携帯電話に配信します。詳しくは各携帯電話事業者のホームページなどで確認してください。</p>

ポイント3 マイ・タイムラインをつくってみよう！

避難を判断するための情報として、5段階の「警戒レベル」があります。

次の避難行動の原則を確認し、災害が発生する恐れがあるときに、「いつ、どのように避難行動」をとるか作成しましょう。

- ・高齢者等避難（警戒レベル3）や避難指示（警戒レベル4）が発令されたら、危険な場所から避難しましょう。
- ・「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- ・避難先は、市が開設している避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅などに避難することも考えましょう。

警戒レベル	行動を促す情報	皆さんの行動	あなた（と家族）はどうする？
5	緊急安全確保	ただちに安全確保	身近で災害が発生しているとき ・ ・ ・
～警戒レベル4までに必ず避難～			
4	避難指示	・危険な場所から全員避難 （立退き避難または屋内安全確保）	避難指示が発令されたとき ・ ・ ・
3	高齢者等避難	・危険な場所から避難に時間を要する人は避難	高齢者等避難が発令されたとき ・ ・ ・
2	大雨注意報 洪水注意報 （気象庁が発表）	・避難場所、避難経路の確認	気象情報（注意報）が発表されたとき ・ ・ ・
1	早期注意情報 （気象庁が発表）	・最新の気象情報に注意	気象情報（早期注意情報）が発表されたとき ・ ・ ・

避難所の種類

種類	内容	場所の例	
自主避難所	自主的に避難する避難所。公民館は自主防災組織（自治会）により運営されます。	公民館、集会所など	
指定避難所	一次避難所	大雨・洪水警報の発表により第一段階で開設する避難所。	生涯学習センター、コミュニティセンターなど
	二次避難所	大規模災害などで避難者が多い場合や、一次避難所が避難所として不適当となった場合に開設する避難所。	農業者トレーニングセンター、市立小中学校など
	福祉避難所	要配慮者に配慮した避難所。避難所に要配慮者が避難してきたときなど必要に応じて開設します。	カミーリヤ

ぼうさいし 防災士からの アドバイス



河野 香奈子さん(石崎在住)

地域の防災力向上のため、自助、共助力の推進を図るリーダー的役割の防災士の資格を持つ。防災に関する指導や研修会の実施などを中心に活動しているちくしの防災女子会「まもらんば」に所属。

中学2年生と小学4年生の2児の母で、保護者目線での子育て世帯に役立つ防災アドバイスもいただきました。



防災バッグは自分や家族にあったものを

非常持ち出し品は本来に必要なものかどうかを見極めることが大切です。あれもこれもと詰め込んでしまうと、バッグが重くなり、災害発生時にすぐに出せないかもしれません。一つで何役も活用できるような道具を選ぶと便利です。

避難所などは気が滅入ることがあるので、余裕があれば、気分転換ができるように、甘い食べ物や複数の遊び方ができるトランプなどを入れておくとうるさくないと思います。

防災バッグは季節ごとの年4回、または半年ごとの年2回は見直しすることをおすすめします。暑さ・寒さの対策に加え、今の病気の症状にあった薬やお薬手帳、保険証のコピー、子どもは成



備蓄品も定期的な確認を

長に合わせた衣類や食品、おもちゃなど内容が今の状況にあっているか、使えるか、古くなっていないかなど見直しましょう。

食品などの備蓄品には金額の高い防災用のものを取りそろえなくても大丈夫です。特に幼い子どもは普段食べ慣れたものでないと、いざというときに食べないということもあります。乾物や缶詰など日持ちする食品を定期的に入れ替え、消費期限が来たものは普段の食事で消費する、ローリングストックをすれば、経費を抑えられ、食品に慣れることもできます。

飲み物は、水の他に、常温で長持ちする豆乳や野菜ジュース、トマトジュ



避難所には何もないと考えて

スもおすすめです。

メディアなどで目にする避難所の映像を見て、「避難所ではいろいろな物品が準備されていて、支給してもらえるものだ」と思っている人も多いです。しかし実際の避難所は、支給品などは何もなく避難する場所だけだと考えておいてください。

そのためにも、自分たちで必要なものは事前に準備しておくことが重要ですね。



非日常をもっと身近に

体験に勝るものはありません。我が家では、被災した想定で、電気や水道を使わず防災バッグや備蓄品のみで生活をしてみたり、庭でのキャンプや野外調理をしています。非日常に慣れておくことは大切ですし、普段当たり前と考えているライフラインの大切さを改めて実感することにもつながります。

また、災害が体験できる防災センターや防災キャンプなどは楽しみながら防災の知識を身に付けることができますのでぜひ体験してみてください。



災害はいつ来るのかわからない

災害はいつどのような状況で遭遇するかわかりません。普段の持ち物に、スマホ充電器や携帯トイレ、ホイッスルなど防災グッズを入れておくと安心です。

また、家族が仕事や学校などで別々の場所にいる場合での被災を想定することも大切です。あらかじめ、連絡方法や落ち合う場所などを家族間で決め、避難時に利用する道に危険箇所はないかの確認をしておきましょう。

「家族の命や安全」は重要な情報であり、確認できるだけでも心の余裕は大きく変わってきますからね。



▲家族で防災バッグの内容や消費期限の確認を

重要水防地域29カ所を指定



筑紫野市水防協議会(市関係課、消防署、消防団、自衛隊、那珂県土整備事務所、警察などで構成)では、毎年、大雨による被害が予想される危険箇所を調査し、重要水防箇所として指定しています。

指定した場所は、河川の溢水(いっすい、水があふれ出る)、土砂の流出、堤防の決壊などの恐れがあるところ です。

同協議会では、万が一の場合に万全の態勢をとるため、水防計画を策定し、特に重要水防地域に指定された場所は、関係機関などで絶えず注意が払われています。

重要水防箇所の詳細は、市ホームページを確認してください。

ID2172



▲現地確認を行う水防協議会

	予想される危険	危険箇所	行政区		予想される危険	危険箇所	行政区
1	堤防溢水	鷲田川(落合橋付近)	杉塚	16	土砂流出の恐れ	石坂団地西側斜面	原
2		鷲田川(湯町1丁目～迎田橋付近)	湯町～本町	17		葉光ヶ丘プロパンガス置場裏斜面	東吉木
3		高尾川(鍬の柄橋下流)	紫	18		下西山大橋付近斜面	山家2区
4		宝満川(大宮司橋上・下流)	中阿志岐	19		山家ニュータウン西側斜面	山家3区
5		山口川(針摺橋付近～永岡橋付近)	俗明院～永岡	20		小石北側斜面	山口
6		般若寺第一雨水幹線(京町足洗公園付近)	京町	21		平等寺公民館付近斜面	平等寺
7		東新町雨水幹線(電話局入口交差点付近)	旭町、紫、天神	22		福岡常葉高校横斜面	筑紫
8	土砂流出の恐れ	塔原西3丁目斜面	塔原	23		筑紫神社北側斜面	原田
9		宮田町公民館南側斜面	宮田町	24		筑紫神社北側団地斜面	筑紫
10		修理田団地東側斜面		25		高良神社付近斜面	東吉木
11	擁壁崩壊恐れ	旧松ヶ浦公民館付近擁壁	松ヶ浦	26		下西山公民館付近斜面	山家2区
12	土砂流出の恐れ	朝香団地東側斜面	上阿志岐西	27		小石原川一ノ瀬砂防堰堤	大石
13		朝香団地西側斜面		28		萩原公民館南東部斜面	萩原
14		朝香団地北側斜面		29		山口公民館西部斜面	山口
15		筑紫野団地配水タンク横斜面					